

あかひん

わが町、わが店、この道一筋。出逢いとコミュニケーション あかい新聞店ホームページ <http://www.akai-shinbunten.net> <発行所>あかい新聞店 武豊店/知多郡武豊町字金下37番地 ☎<0569>72-0356 常滑店/常滑市市場町4丁目167番地 ☎<0569>35-2861 企画・制作：株式会社 新聞ビル



よんひゃくじのきまつがたり

四百字の京がたり

ひいさま ✨ 藤間勘萃

NO.001

十三まいり〜五月〜

「ええな。渡りきるまで振り返ったらあかんえ。」

京都の町では、子どもたちが数えの年で十三になると、嵐山の法輪寺にお詣りをする。その帰り道、一回でも振り返ると、せつかく授かった知恵と福德を、ご本尊の虚空蔵菩薩様にお返しすることに。お寺を出て、桂川にかかる渡月橋を渡り終えるまで、子どもたちはひたすらに前を向いて、一言も話さず、一人で歩いていく。

私もそうして渡月橋を渡った子どもの一人だ。大人の寸法に本裁ちした晴れ着を初めて身にまとい、慣れないお草履につまづきそうになりながら。一五五メートルの橋が、歩いても歩いても永遠に続くようで、不安になる気持ちをかくしつ、ひたすらに前を向いて。

渡り切って振り返ると、五月の新緑にきらきらと眩しい桂川。今さっきまで立っていた橋のたもととは、はるか彼方の対岸に。

子どもの世界のこちら岸から、大人の世界の向こう岸へ。

晴れ晴れしく見渡す水の流れには、ひとひらの寂しさ、浮きつ沈みつ。

ひいさま (松根裕美)

京都生まれ、京都育ち。学生時代は日英を問わず朗読や作文に多く携わる。高校時代、裏千家主催学校茶道体験論文コンテストにて優秀賞受賞、第18回裏千家ハイセミナーに招待。京都私学ESS連盟主催英語暗唱大会優勝、英語弁論大会優勝。大学時代、世界遺産「下鴨神社」で十二単王朝舞を学び、名月管絃祭で舞を奉納。現在は京がたりの舞台活動に加え、一般社団法人きものカラーコーディネーター協会認定講師として、きもの・色・ことばに関わる各種レッスンやコンサルティングを、名古屋を中心に各地で展開。きものカラーワークやセルフ和髪レッスンなど、地方や海外からも生徒が訪れる人気講座を運営。
Instagram → @hiromimatsune



ひいさま ✨ 藤間勘萃 幻燈館

「十三詣り」動画を YouTube でご覧いただけます。
QRコードを読み取っていただくか、「ひいさま十三」で検索して下さい。

ふじまかんすい 藤間勘萃

1958年に名古屋で生まれ、1977年にデビュー。日本舞踊家(宗家 藤間流 名執)/楽師としてNHK「日曜美術館」や「花の舞・花の宴」、養老孟司(東京大学名誉教授)との「以心伝心・以身伝心」、久田舜一郎(小鼓方 大倉流15代宗家)との「秋天の興」など放送や舞台に数多く携わる。作/編曲家として「世界デザイン博覧会」テーマ館音楽、名古屋市芸術祭主催公演テーマ曲、関西二期会オペラ、合唱曲「弥陀観音大勢至」(深井丸 興西寺所蔵)、「おとほぎ」(あいちオカリナ フェスタ テーマ曲)、音楽版「浄土真宗 正信偈草四句目下」(光壽山 阿彌陀寺所蔵)などを手掛ける。名古屋音楽大学 音楽学部 作曲学科卒業。日本福祉大学 社会福祉学部を経て、現在、東海学園大学 教育学部にて講師。



ひいさま ✨ 藤間勘萃の
ホームページはこちら



私の出会った作品 (95) 杉本武之

◎カフカ

チエコが生んだ世界的な作家フランツ・カフカが亡くなって丁度百年になります。あれほど不眠に苦しんだカフカでしたが、この百年間、ぐっすりとしたかんに眠っていたことでしょうか。

《略年譜》
1883年7月3日、チエコの首都プラハのユダヤ人区で生まれた。父ヘルマンは、行商人から身を起し、プラハで小間物屋を開いていた。その時、31歳だった。母ユリエは、プラハのかなり良い家柄の出身で、その時、27歳だった。



『フェリーツェとカフカ』

ツェと出会った。9月、彼女に最初の手紙を書いた。1914年6月1日にフェリーツェと婚約したが、7月12日、婚約を解消した。1917年7月、フェ

の娘ユリエと出会った。6月、ユリエと婚約したが、父ヘルマンの強い反対で結婚には至らなかった。1920年、既婚の女性ジャーナリストのミレナに手紙を出した。以降、二

と最後に会った。7月、バルト海の海水浴場で、ユダヤ人臨海学校で働いていた若いドーラと会った。9月、ベルリンでドーラと同棲生活に入った。困難な生活状況の中で健康状態は急激に悪化した。

1カ月以上も経った9月20日、カフカは彼女に宛てて最初の手紙を書いた。初めは懐疑的であった彼女も、書き送られてくる手紙を読んでいくうちに次第にカフカを愛するようになっていった。

翌年の6月、カフカは彼女に初めて求婚の手紙を出し、彼女も受諾の意を伝えた。

1914年6月1日、ベルリンで正式に婚約した。しかし、7月12日、婚約が解消された。その後、紆余曲折があり、3年後の1917年7月初旬、彼女がプラハに来て2度目の婚約をした。しかし、今度も、12月に婚約は解消された。表向きの理由は、3カ月前の肺結核の発病であった。

どうして、こんなことが2度も繰り返されたので

しょうか。よく分からない点が多々ありますが、どうもカフカは女性に対して性的に自信がなく、結婚生活に恐れを抱いていたように思われます。『日記』に「書いています。『できるだけ禁欲的に生きること、独身者より禁欲的であること、これが僕にとつての結婚生活に耐える唯一の可能性だ』」

1920年4月、療養のための休暇を得た37歳のカフカは、南チロルの保養地メラーンに行った。そこから既婚の女性ジャーナリストのミレナ(24歳)に手紙を出した。その前に彼女が彼の作品をチエコ語に訳したいと申し出ていたが、それに対する手紙だったのである。以降、二人の間に熱烈な愛の手紙が交換されることになった。

ミレナは、外科医の父親の家を飛び出し、ユダヤ人の文士と結婚してウィーンに住んでいたが、やがて夫に見捨てられた。カフカとの文通が始まった当時、彼女は貧困と孤独の底で苦しんでいた。6月29日、保

養地から帰る途中に、カフカはウィーンに立ち寄り、ミレナと会った。1923年に入って、カフカの病状が悪化した。5月、彼は保養地からミレナに葉書を書いた。そして、6月、二人は会ったが、それが最後の出会いであった。

カフカにとつて、ミレナはその教養の点で、文学を理解するだけでなく、自身も文学に係わる仕事を持っていたという点で、さらに、非ユダヤ人でキリスト教徒であり、既婚者であったという点で、彼がこれまで接してきた女性たちとは異なっていた。

あつた。病気と貧困の生活が続いたが、カフカもドーラも幸福であった。二人の家を訪問した親友のプロットは、二人の微笑ましい情景をこう書いています。

「二人はよく子供のようになふざけっこをした。今でも私は、彼らが同じ金属製の皿の中に手を入れて『私たちのお風呂』と言っていたのを思い出す」

苦悩の作家カフカは、こうした素朴な男女関係を求め続けていたにちがいない。

若いドーラは、カフカが死ぬまで常に彼に寄り添っていました。



〈杉本武之プロフィール〉
1939年、碧南市に生まれる。京都大学文学部卒業。翻訳業を経て、小学校教師になるために愛知教育大学に入学。25年間、西尾市の小中学校に勤務。定年退職後、名古屋大学教育学部の大学院で学ぶ。〈趣味〉読書と競馬

この指とまれ (338)

昭和55年度常滑西小学校二年二組
「ごんごん」 氏原朝信

「ごんごん」ごんごんに贈る言葉(2)
◎子供の頃の生活模様
◇紙芝居のおじさんが来て太鼓をドンドン叩いて回ってくる音に誘われて飛び出していく。鈴やおしやぶりを財布に買い、紙芝居の始まり始まりです。ワクワクしながら見て、それは楽しかったものです。



◇まだテレビはなく、古ぼけたラジオが一台あり、その前に家族が集まってお話や音楽を聞いていました。いいところになると時々ビープーガーガーと雑音が入り、ラジオを手でたたくと直つたりする代物でした。
◇私が小さい頃、おばあちゃんが秋になると、家中の布団を打ち直しのために泊まりに来ていました。おばあちゃんとお話するのが楽しかったです。なぜでしょう。それは、きつねのお話が布団の中で始まるからです。お話は、村人がきつねに化かされてオシッコを飲まされた話やお風呂だと言つて野ツボに入らされた話でした。いつも同じ話だったけど、胸がわくわくして「おばあちゃんのお話を聞きながらいつの間にか眠っていました。」

子が将来どんな子に育つてほしいかと願いを込めて付けてきました。名前(省略)を決めたのは、国語ができるようにという考えからです。作文ができ、自分の気持ちや物事をうまく言い表せるようにと、また、字を上手に書けるようにと願って付けました。
②それそれ違うけれど
①「おぎやあ」第一声をあげて生まれた大きな男の子。自分の命のあることを伝えようと一晩中私の耳元で泣いていました。私を寝かせてくれないのかと思うと不安になってしまいました。が、一歳の誕生日には餅を一つ「よいしよ、よいしよ」と持って歩いたのに驚きました。
③赤ちゃんの時、ちっとも昼寝をしなくて困りました。それにしゃっくりが出るとなかなか止まらなくておばあちゃんも苦労したものです。
④生まれた時は、鼻筋が通つていて色が白く大層かわいかったです。

長澤晶子のSPEED★COOKING!

簡単! もちもち白玉苺大福

旬の苺もお値打ちになりました。季節の和菓子出来立てを味わってください!

| | |
|---------------------|--------------------------------|
| 【16個分】 | ◎粒あん.....1個40g×16個分 (丸めておく) |
| ◎白玉粉.....180g | ◎片栗粉.....適宜 (パットに入れ広げておく) |
| ◎上白糖.....54g | ◎水.....225cc |
| ◎水.....225cc | ◎苺.....16粒(へたを取り除く) |
| ◎苺.....16粒(へたを取り除く) | ◎ラップ.....適宜 |

- 作り方
- 切り取ったラップ(22×15cm)の中央左寄りに◎を置き、ラップをかぶせ、平らに押しつぶす。
 - ①の上面のラップを外し、餡を包む。
 - 耐熱容器に◎と◎を入れ、◎の1/2量を加え混ぜる。さらに残りの◎を少しずつ加えよく混ぜ合わせる。
 - ③にラップで蓋をし、レンジ600W1分半加熱する。蒸気火傷に注意しながらラップを外し生地をよく混ぜ合わせる。さらにラップをし1分半加熱、生地混ぜ合わせを2回繰り返す(混ぜ合わせ際の木べらやゴムベラは水を浸すとべたつかない)。
 - パットに◎をたっぷり用意し、④の生地を耐熱容器から取り出す。
★ポイント⇒出来るだけ、面の状態で取り出すと、きれいに仕上がる
 - 薄く片栗粉をつけた包丁などで◎の生地に4×4の格子目印をつけて、16等分に押し切りする。
 - ◎が冷めないうちに、◎のをせ包む。手がべたつくようなら、手に片栗粉をつけながら包むとよいです。



常滑市民文化会館
ホール
◎バレエ発表会・六日(月・振) 開演 午後一時 開演 同一時半(同一時半) 入場無料 問合せ 伊藤祐子 ☎43-6469
◎第67回 常滑市美術展 表彰式・十九日(日) 開演 午後一時 開演 同一時半(同一時半) 関係者のみ(ホール) 舞台上下) 問合せ 常滑市教育委員会 生涯学習スポーツ課 ☎44-4600
◎文化協会本部事業 邦楽のつどい・二十六

日(日) 開演 午前十一時半 開演 同一時半(午後四時) 入場無料 問合せ 常滑市文化協会 ☎35-12920
◎展示室
◎あなたのギャラリー
◎第67回 常滑市美術展・十七日(金) 十九日(日) 午前九時(午後五時) 最終日(同三時) ホールロビー、第一・二展示室、あなたのギャラリー 問合せ 常滑市教育委員会 生涯学習スポーツ課 ☎44-4600
◎ごなめ陶の森資料館
◎「大正時代の急須」展・開催中
◎ごなめ陶の森 陶芸研究所

◎常設展示
◎青海公民館
◎「青墨会」の絵画の作品展(二十五日(水)～二十六日(日)) 青海公民館
◎常滑市体育館
◎第56回 春季市民剣道大会・三日(金) 祝) 中学卓球団体リーグ・六日(月・振)
◎愛知県小学生A・B Cバドミントン大会・十一日(土)
◎常滑市民バスケットボール大会・十二日(日)・十九日(日)
◎高校総体バスケットボール愛知県大会・二十五日(土)
◎全知多空手道競技大会・二十六日(日)

常滑の町で 自然と共に 東龍寺 墓地 大阪屋樹木葬常滑北
誠意を込めて安心のお手伝い
大阪屋葬祭
常滑ホール 鬼崎ホール リビング常滑 リビング常滑北
TEL0569-35-4949
大阪屋葬祭 | 検索

知多の新鮮たまご 発酵ケイフン
知多エッグ
知多郡武豊二ツ峯380 TEL0569-73-6341

